

< 中等科課程 >

令和 6 年度 募集要項

一般社団法人鳳岫社 / 岐阜伎芸学院

* 本募集要項の内容に変更が生じた場合はホームページにより周知しますので、出願前や受験前は特にご注意願います。

募集人員	課程	募集人数
	中等科	若干名

中等科課程をめざす方へ

放課後の地域部活動や夏休み・冬休みなどの期間を利用して、入学前属座や各種プログラムを開致します。

高等科課程における入学試験の一部免除や特待制度の選考基準を一部緩和致します。

アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）

<入学者選考の基本方針>

1. 地域文化への情熱と探求心

- ・ 伝統文化への関心だけでなく、地域文化への深い理解と探求心を持ち、地域社会との繋がりを大切にする者を選考する。
- ・ 自ら積極的に学び、地域の人々と交流し、地域文化の活性化に貢献しようとする意欲を持つ者を選考する。
- ・ 多様な価値観を持つ人々と協働し、共に成長できる柔軟性を持つ者を選考する。

2. 自ら学び続ける主体性

- ・ 中学校の部活動を通して、自主的に学習を進める習慣と意欲を持つ者を選考する。
- ・ 時間管理能力、自己管理能力を持ち、学習計画を立てて実行できる者を選考する。
- ・ 情報技術を活用し、積極的に情報収集を行い、学習に活かせる者を選考する。

<入学者に求める学生像と入学者選考方法>

1. 入学までに身に付けてほしいこと

- ・ 伝統文化への関心
- ・ 地域文化への理解
- ・ 自主学習の習慣
- ・ 時間管理能力、自己管理能力
- ・ 情報活用能力

2. 入学者に求める学力

- ・ 中学校入学程度
- ・ コミュニケーション能力
- ・ 論理的思考力

3.入学者選考方法

- 書類選考
- 面接
- 他部活動実績

アドミッション・ポリシーの特徴

- 伝統文化への関心だけでなく、自身の夢や目標を明確に持ち、探求心を持ち続ける者を評価します。
- 自ら学び続ける主体性、時間管理能力、自己管理能力、情報活用能力を評価します。

※上記はあくまでも一例であり、実際の入学者選考方法は変更される可能性があります。

中等科は、地域文化への理解と探求心を持ち、地域社会との繋がりを大切にしながら、伝統文化を継承・発展させていく人材を育成することを目的としています。

中等科で学んだことは、高等課程への進学だけでなく、将来の進路選択や地域活動にも役立つ貴重な経験となるでしょう。

中等科への入学を検討している方は、ぜひ説明会に参加して、中等科について詳しく知ってください。

ディプロマ・ポリシー（修了認定の方針）

<人材育成目標（卒業生が身に付けるべき資質・能力）>

1. 地域文化を担う主体性

- 地域文化への深い理解と愛着を持ち、伝統文化を継承・発展させる意欲と責任感を持つ。
- 地域社会との協働を通して、地域文化の活性化に貢献できる力を育てる。
- 自ら課題を発見し、解決策を導き出す問題解決能力を高める。

2. 多様性を受け入れる協調性

- 地域住民との交流を通して、多様な価値観を受け入れる協調性を育成する。
- コミュニケーション能力を高め、互いを尊重し、協働する態度を育成する。
- チームワークを発揮し、地域課題解決に貢献する協調性を育成する。

3. 未来を創造する汎用的な能力

- 情報活用能力、問題解決能力、コミュニケーション能力など、社会で必要とされる汎用的な能力を育成する。
- 論理的思考力、批判的思考力、創造性を育成し、社会の変化に対応できる人材を育成する。
- 伝統文化を現代社会に活かす方法を探求し、地域社会に貢献できる人材を育成する。

4. 伝統文化への敬意と誇り

- 伝統文化への深い理解と敬意を持ち、誇りをを持って継承・発展していく力を育成する。
- 伝統文化の価値を再認識し、現代社会に活かせる方法を探求する。
- 岐阜の伝統文化を世界に発信していく意欲を育成する。

<プログラムの到達目標（目標としての学修成果）>

1. 知識・理解

- 伝統芸能・文化に関する幅広い知識を理解する。
- 岐阜の地域文化に関する深い理解を持つ。
- 情報技術を活用し、情報収集・分析を行い、課題解決に活かす。

2.当該分野固有の能力

- 伝統芸能・文化の基礎的な技術を習得する。
- 地域文化に関する知識を広げ、積極的に吸収する。
- 地域住民との交流を通して、地域文化への理解を深める。

3.汎用的能力

- 自ら課題を発見し、解決策を導き出す問題解決能力を高める。
- コミュニケーション能力、プレゼンテーション能力を向上させる。
- 情報活用能力、時間管理能力、自己管理能力を高める。

4.態度・姿勢

- 伝統文化への深い理解と敬意を持ち、責任感と倫理観を持って行動する。
- 自ら学び続ける姿勢を持ち、生涯にわたって自己研鑽に励む。
- 岐阜の伝統文化を継承・発展させ、地域社会に貢献する意識を持つ。

※上記の四つの資質・能力を包含した「課題解決力」「協調性（コーディネート能力）」「汎用的能力」「態度・姿勢」を学生自らが到達目標を設定するうえでの共通的な指針とし、分野の異なる他者と協働して論理的思考と科学的根拠に基づいた課題解決のプロセスを通して、自己の人材価値を生涯にわたって能動的に高めていくことができる「自己創造型学修者」の育成を目標としています。

<プログラム修了認定（ディプロマ）の方針>

所定の期間在学し、人材育成目標に沿って、各コース、プログラム等で定める「知識・理解」「当該分野固有の能力」「汎用的な能力」「態度・姿勢」の資質・能力を修得し、修了要件を満たした者に、各修了証（中等課程）を授与致します。

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

＜教育課程編成の基本方針＞

1. 地域文化と連携した実践的な学び

- 地域部活動と連携した実践的な学習を通して、伝統文化を体験し、地域文化への理解を深める。
- 地域住民との交流を通して、協調性、コミュニケーション能力を育成する。
- 地域課題の解決に貢献できる人材を育成する。

2. 個別指導とグループワーク

- 個別指導を通して、個々の能力や目標に合わせた学習を支援する。
- グループワークを通して、協働性、コミュニケーション能力を向上させる。
- 多様な価値観を持つ人々と協働する経験を提供する。

3. 伝統文化と現代社会の融合

- 伝統文化を現代社会のニーズに合わせて再解釈し、新たな価値創造を目指す。
- 伝統文化を活かした地域活性化、観光振興など、社会課題の解決に貢献する。
- 伝統文化と現代社会を繋ぐ人材を育成する。

4. 多様な価値観との協働

- 異なる夢や目標を持つ仲間と協働し、課題解決に取り組む。
- コミュニケーション能力、協調性を高め、チームワークを発揮する。
- 多様な価値観を受け入れ、共に成長できる環境を提供する。

＜到達目標に達するための教育課程＞

1. カリキュラム編成、学修内容・方法

- 伝統芸能・文化に関する専門科目を体系的に学ぶ。
- 地域文化に関する科目、情報技術に関する科目などを履修する。
- 地域部活動との連携授業、地域住民との交流イベントなどを実施する。
- 学生の自主性を尊重し、個々の目標に合わせた学習を支援する。

2.学修成果の評価方法

- 試験、実技など、多様な評価方法を採用する。
- 自己評価、相互評価を取り入れる。
- ポートフォリオによる学習成果の記録・評価を行い、自己評価能力を高める。

※上記はあくまでも一例であり、実際のカリキュラムや学修成果の評価方法は変更される可能性があります。